



ほっとねっと通信

第10号(秋) H30・10 発行

今年4月、那須塩原駅から徒歩10分ほどのところに那須塩原市市民活動センターができました。市民活動センターは、市民の自主的で営利を目的としない、社会に貢献する活動をサポートする施設です。今はNPO法人になっている子育てほっとねっとも最初は一市民団体として出発しました。わからないことだらけ、難題だらけの日々でした。「困った」「困った」と言っているといつも誰かが手を差し伸べてくれました。それらがあって今の子育てほっとねっとがあります。活動センターは、活動するみんなで盛り立て育てていくところ、担い手は活動する私たちだと私は思います。まずは利用すること、関わること。8月5日、真夏の日差しの中、センター主催の市民フェスタに参加し

ました。そして、新しく始めるホームスタートのビジター養成研修の会場にもしています。センター開設を機に那須塩原市の市民活動がますます活発になり、多くの仲間が増えることを願っています。

理事長 西田由記子



8月5日(日)

市民フェスタは、ポップコーン・ラムネ・遊びコーナーで参加!

ホームスタート

13名のホームビジターが誕生しました!!



13名のホームビジター

6/9(土) ほっとねっと総会後

ホームスタート勉強会 16名参加

7/8(日) ホームスタート説明会

(HSJ 山田幸恵さんを迎えて) 30名参加

8/28(火) ~ 10/16(火) 8日間

ホームビジター養成講座 13名受講→終了

☆ 11/1(木) ~ 活動開始!!

申し込み・連絡先 080-5979-5417 磯・高根澤

※西日本豪雨
緊急支援募金にご協力
いただきました
15,071円は
ホームスタート
ジャパンを通して
お送りしました
のでご報告
いたします

※**ホームスタート**とは、子育て中の孤独感や不安を軽減するため研修を受けた地域の子育てボランティア(ホームビジター)が、就学前の子どもがいる家庭を訪問し、話をしたり、一緒に家事や育児をしたり、子育て中の親に寄り添う支援です

NPO法人「子育てほっとねっと」会員募集中!

当法人の目的に賛同し、活動推進する個人および団体の方。下記までご連絡ください。

年会費⇒正会員=2000円

連絡先 TEL 090-9230-8755

支会会員=1000円(1口)

FAX 0287-47-6252

HP <http://hottonetto.com/>

Eメール hotnet@tbz.t-com.ne.jp

代表 西田由記子





2018 年上半期のほっぺの利用者は、1026 組(大人 1037 人、子ども 1152 人)でした。昨年度の同時期と比べ 110%と利用者が増えてきています。



昨年度から、はいはいまでの赤ちゃんを対象とした赤ちゃん集まれの日を充実させたところ、今一番利用が多いのは 0 歳児です。ほっぺの紹介パネルを作り、保健センターでの乳幼児検診時等に毎

月出しているほっぺだよりと共に置いてもらうようになったことも功を奏したのかもしれない。小さな赤ちゃんを抱っこしてはじめは不安そうにやってきたお母さんたちが、他のお母さんたちと楽しそうにおしゃべりをするようになっていく姿をみるととてもうれしくなります。ほっぺの周囲はこの 1 年ぐらいの間にどんどん新しい家が建ち、驚くばかりです。新しい住宅地にはやはり子育て中の家族が多く引っ越してきます。ほっぺのことをもっと知ってもらう工夫をして、歩いてほっぺに来る人が増えていくといいなと思っています。

ほっぺスタッフ 西田・室井・星・八木沢・根本



4 月 3 日から新たにスタートしたつどいの広場“ま〜る”は、毎日たくさんの利用者でにぎやかに過ごしています。昨年度の 4 月～9 月の利用組数は 1068 組でしたが今年度は 1272 組と増えています。特に、4, 5, 6 歳の利用は昨年 1 年間で 70 人だったのに対し今年度はすでに 139 人の利用がありました。幼稚園や保育園へ入園した利用者は友達を誘って夏休みに来てくれました。2 学期に入ってから幼稚園が終わった後、利用時間ギリギリまで広くなったま〜るでたくさん体を動かし遊んでいます。また、大通りに面していることで、様々な人の目に触れるようになり、初めての人や久しぶりに来てくれる人も増えました。「下の子を連れてきました！」と、懐かしい顔に会えることも多いです。

「赤ちゃんの日」の「ねんねアート」は、徐々に利用が増えています。お母さん達の



自主的な行事になっていて、当日は用意してくれているお母さんと参加者が協力しながら行っています。お母さん達の持っているそれぞれの力に

感心しています。

10 月には東保育園の消防訓練にあわせて、“ま〜る”も一緒に避難訓練を行う予定です。保育園との交流など、地域とのつながりを大切にしたい取り組みを、これから行っていければと考えています。

ま〜るスタッフ

高根澤・沢登・後藤・川島



つどいの広場スタッフの
声かけ効果か、二人目三人目
の出産に備えての登録が増
えてきました。また、今年度は市の保育課で、
入園や入学説明会の時にファミサポの三つ
折りパンフを配布してくれることになりました。
必要としている方々に、ファミサポの
存在を知ってもらう機会が増えるのはうれ
しいことですが、それに伴って増えていくで
あろう、サポート依頼に応えるためにも、市
内それぞれの地域にサポート会員がいてく
ださることが理想です。私たちスタッフも、
サポート会員養成講座の開催に合わせ、各公
共施設や様々な商業施設へのチラシの配布

を行っています。しかし、友人・知人からの
声かけに勝るものではありません。皆さまのご
協力を引き続きよろしくお願いいたします。



さて、センター事務所は、
市の「赤ちゃんの駅」
事業にも登録し、入口
にステッカーが貼って
あります。おむつ替え
や授乳のために利用して
もらうこともできるようになりました。また、
ただ今サポート会員・井上さんの刺繍の作品
展示もさせていただいています。白く塗った
壁にとっても映える素敵な作品を観に、是非お
立ち寄り下さい。

サポート会員さんが刺繍をして作られた作品です。

スタッフ 長瀬・磯・熊久保・久保



集団託児

2018年度前半を終えて

090-9230-8755

過去にない猛暑でしたが秋が訪れ集団託
児の依頼が増えるシーズンに入りました。集
団託児は毎年、秋から多くなる傾向がみられ
ます。地区やタイミング等ありますが、登録
していただいている 88 名（2018 年 9 月末
現在）の皆さんに協力いただいております。



集団託児は
まさに一期
一会。お互い
に初対面で
託児が始ま
るわけです。

初めてなのにヘッチャラなお子さんもいれ
ば、ママにしがみついているお子さんもいて、
お子さんの気持ちをママからちょっとだけ
離すところから託児スタート。ここからは子
ども達に少しでも楽しい時間を過ごしてもら
えるよう託児の皆さんに力を発揮してい
ただいております。ホームページを確認して
依頼をくださる事業者さんも多くなりました。
ホームページの充実は不可欠です。これ
からも地域の託児は【子育てほっとねっと】
と思っていただけるよう PR にも力を入れた
いと思います。皆さん宜しくお願い致します。

集団託児担当 久保



子ども食堂立ち上げから1年が過ぎました。アツという間の1年でした。毎回来てくれる人の数が把握できず、料理が足りなくなったり、余ったりの繰り返しですが、来てくれた人たちの顔を見ると「満足してくれているかな」と、感じられるようになりました。食材を提供してくれる人、ボランティアにも係わらずお手伝いに来てくれる人、多くの人たちに支えられて運営が成り立っています。7月は流しそうめん、男衆は、猛暑の中早朝から竹を取りに行き流す台を組み立ててくれました。8月は魚のつかみ取り、魚を調達し

プールの設置してくれたスタッフ、イベントは知音食堂のスタッフが中心となり、私たちはお手伝いと

いう形式をとっています。夏場の第1水曜日は、花火も用意してくれました。子どもたちの生き生きした顔と、楽しそうな声を聞くだけで私達スタッフは大満足です。これから食欲の秋に向かいます。

今年も焼き芋づくりやホットケーキ作りが出来たらいいな～！と思っています。“みんなのテーブル”が、人から人に伝わり、ますます笑顔の食卓になってくれると願うばかりです。これからもボランティアの皆さんと共にスタッフ一同力を合わせ、子ども食堂“みんなのテーブル”を盛り上げていきたいと思っています。

スタッフ

島田・久保・熊久保・後藤・佐々木

子どもは花火が大好き



イベント参加

産業文化祭福祉祭り ・ 市民活動センター市民フェスタ

今年の産業文化祭は、お客さんの多い日曜日に参加しては？という声もあり初めて日曜日（10月14日）に参加してみました。確かに人の出入りは多かったように感じました。果して売り上げは？ですが「子育てほっとねっと」を知って頂くためのPR・イベント参加は有意義なものでした。遊び・リサイクル・手作り品それぞれのコーナーも人気がありました。



♡また8月5日
市民活動センターでの
市民フェスタにも
参加して
ポップコーンとラムネの
販売をしました。
(表紙に関連記事あり)

平成30年度通常総会

6/9三島公民館にて17名出席



編集後記；自然災害が多い昨今、東日本大震災も忘れることはできません。あの震災の頃、ファミリーサポートセンター立ち上げのための準備委員会が開かれていたのを思い出します。「ほっとねっと」が生まれたのもその頃、あれから7年が過ぎ今や「子ども食堂」「ホームスタート」と、目覚ましい発展を遂げている現況、ほっとねっと通信を編集するたびに理事長はじめ皆さん一人一人の力の偉大さに感心するばかりです。 編集 佐々木